科目名称	成人看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30
担当教員	小路 陽子	授業に関わる実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】 授業概要

成人への看護に有用な基本的概念や理論を学びながら、成人期の対象について理解を深め、成人期の対象への個々のライフスタイルに沿った援助について考える。

【2】 学習目標

1. 成人期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明することができる。
2. 健康問題が成人期の生活に及ぼす影響を説明することができる。
3. 成人期に必要な援助と看護の役割を述べるができる。
4. 学生自らの健康問題を明らかにし、健康の保持増進に努めることができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	成人看護学を学ぶ目的と意義、「成人」の定義、成人期の区分と各期の特徴、発達課題について	講義
2	成人期の生活状況の特徴、現代の生活状況と成人の健康状態し、成人の健康について	講義
3	健康な生活を送っている人々の健康増進への支援、ヘルスプロモーション、個人の主体的な健康づくり、健康増進のための環境づくりについて	講義 グループワーク
4	生活習慣と健康問題の関連、職業性疾病、社会的な問題について	講義
5	成人の健康をおびやかす要因と健康障害について	講義
6	成人への看護アプローチ① オレムの看護理論(セルフケア・セルフケア不足・看護システム)、アドヒアランス	講義
7	成人への看護アプローチ② 学習理論、成人教育	講義
8	成人への看護アプローチ③ ストレスとストレスコーピング、ストレスマネジメント	講義
9	成人への看護アプローチ④ 自己効力感、エンパワーメント	講義 グループワーク
10	中間まとめ(成人期の対象及び健康問題の理解成人看護の役割、看護理論の理解) 小テスト	講義 グループワーク
11	青年期(学生自身)の健康問題と解決① 学生自身の健康問題とその解決策について話し合う	グループワーク 発表
12	青年期(学生自身)の健康問題と解決② 学生自身の健康問題とその解決策について話し合う	
13	青年期(学生自身)の健康問題と解決③ 学生自身の健康問題とその解決策について話し合う	
14	成人期にある対象への看護の役割	講義・演習
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

小テストを含む筆記試験(80%)と課題・演習レポートの提出状況・内容(20%)で評価する。

【6】 教科書

- ①系統看護学講座 専門分野Ⅱ「成人看護学総論 成人看護学①」医学書院 2021年
- ②野川道子 編著「看護実践に活かす中範囲理論」第2版 メヂカルフレンド社 2019
- ③国民衛生の動向 2019～2020年

【7】 参考書

安酸史子・鈴木純恵、吉田澄恵 編集:ナーシング・グラフィカ 22 成人看護学—成人看護学概論 メディカ出版
 大西和子、岡部聡子 編集:成人看護学概論 ヌーベルヒコカワ
 黒田裕子 監修:やさしく学ぶ看護理論:日総研

【8】受講生へのメッセージ

成人看護学は最も単位数の多い看護学科目です。本科目はその概論ですから、成人看護学の基となる科目です。一緒にしっかり学習し、今後学んでいく成人各論につなげていきましょう。